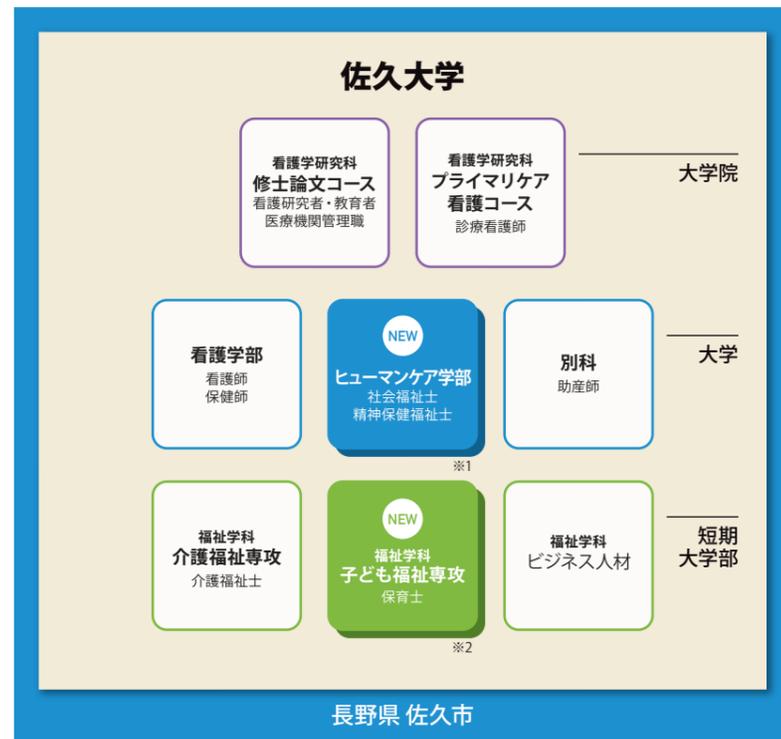


佐久大学は、ケア専門職を養成する 保健・医療・福祉の総合大学へ

佐久大学は「地域発展への寄与」を目的に、医療・介護福祉分野の教育環境を整備し、看護師、保健師、助産師、介護福祉士といった専門職の育成を通して社会に貢献してきました。2021年4月に開設予定のヒューマンケア学部では社会福祉士や精神保健福祉士の育成を、また短期大学部では保育士を育成する環境が整い、「地域ケア」の幅広い領域を包括的に学べる「保健・医療・福祉」の小さな総合大学としてさらなる進化を遂げます。

●佐久大学 ケア専門職 養成体制



※1 2021年4月開設予定(設置認可申請中)
※2 2021年4月開設予定(設置届出予定)



佐久大学

保健・医療・福祉の 総合大学へ

佐久の伝統・地域ケアを学び、世界に広げる高い志を抱いた新しい学びの場が誕生します。

先進医療を学ぶ公的医療機関の協力と、豊かなケアの心に充ちた福祉施設での実習、

そして自然豊かな高原のキャンパスで、ぜひ、あなたの未来を見つけてください。



学校法人 佐久学園

佐久大学

長野県佐久市岩村田2384
TEL : 0267-68-6680
FAX : 0267-68-6687
http://www.saku.ac.jp
E-mail : admission@saku.ac.jp

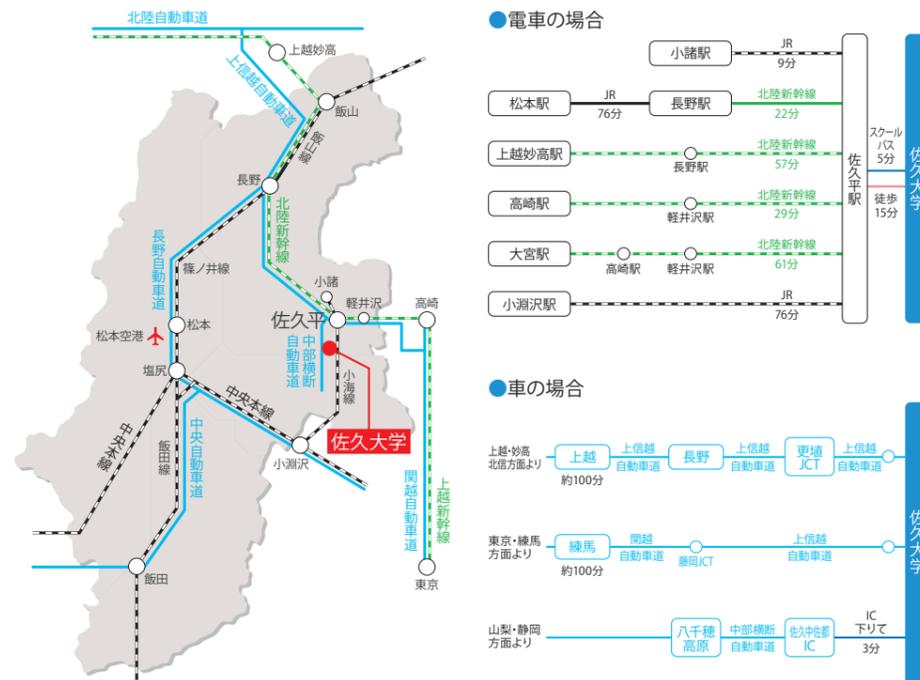
オープン
キャンパス
情報は
こちら



最新情報・
入試情報は
WEBへ



令和2年3月31日現在の内容となります



2021年4月
開設予定
(設置認可申請中)

Human Care

ヒューマンケア学部

ヒューマンケア学科

社会福祉士 養成課程 精神保健福祉士 養成課程

2021年4月
開設予定
(設置届出予定)

Child Care

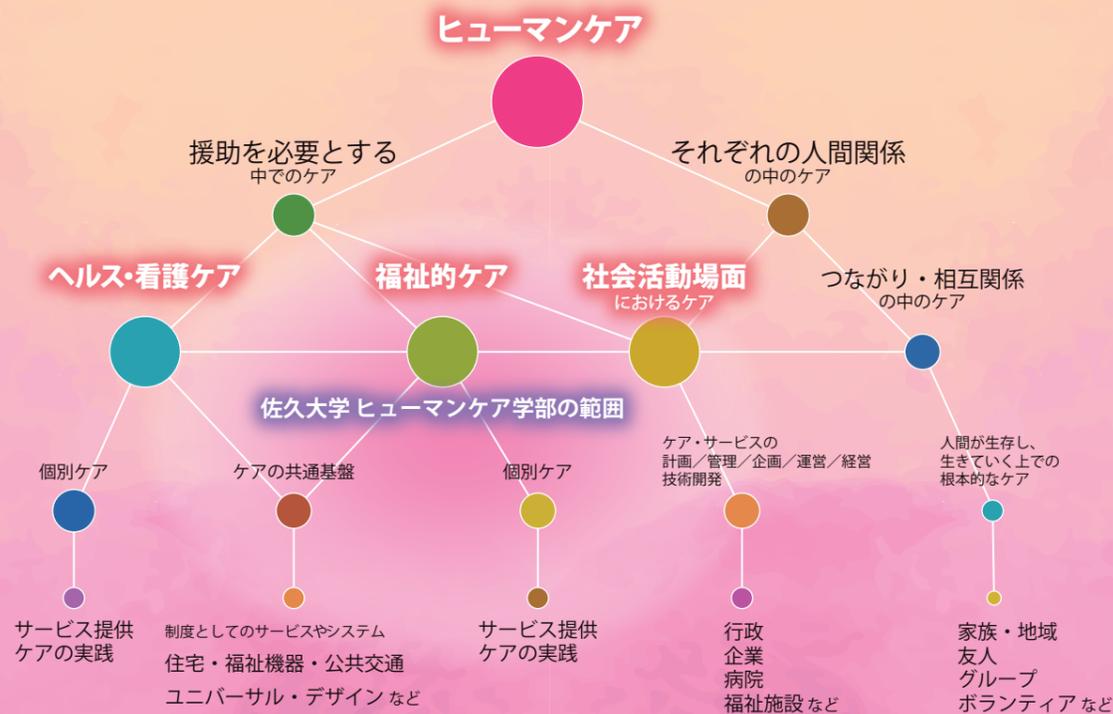
信州短期大学部 福祉学科 子ども福祉専攻

保育士 養成課程

※掲載されている内容は予定であり、変更になる場合があります。

CARE

「本当」のケア、って？



お世話 すること？ 介護すること？

「家族や専門職が要介護高齢者などの心身の世話や介護をすること」というのが、「ケア」の一般的な解釈だ。しかし本来、ヒューマンケアの概念はとても幅広い。国や自治体が行う社会的に弱い立場の人への救済の制度も、人間関係のなかでの気遣いや思いやりも「ケア」。治療や療養の看護、日常生活を快適かつ安全に営むための介護、保育や自立援助なども「ケア」だ。さらに健康増進の取り組みや疾病予防なども含めると、現代のケア・ニーズの急速な多様化・複雑化が理解できるだろう。こうしたケアの広がりや課題を正しくとらえ、職種や業界の垣根を越えて本当に求められるサービスやしぐみを生み出せる人材が今強く求められている。

「ケア」を求め
すべての人を対象に

ケアの広がりを理解すると、その対象者が高齢者や障がい者、また子どもたちにとどまらないことがわかる。ケアは人の一生のすべてにつながる、つまりあなたやあなたの家族の今と未来に深く関わるものなのだ。

「ケア専門職」が担う 多職種連携

ケアのニーズが拡大し続けるなか、看護師や社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、保育士といったケア専門職への期待はますます高まっている。そして、ひとりのケア専門職がひとりの利用者をケアするのではなく、保健・医療・福祉の専門職が連携してニーズに協働して向き合うことがさらに重要になるだろう。

都会では
できない
佐久だから
できる

これからのケア専門職の育成には、医療や介護、生活支援、介護予防などの緊密なネットワークのなかでの「実践的な学び」が欠かせない。佐久地域は「地域包括ケア*」の先進地として、保健・医療・福祉の基盤が整備され、求められる教育に最適の環境。佐久を舞台にした「ならでは」の教育がここに。

*地域包括ケア：医療や介護が必要な状態になっても、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した生活を続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保されるという考え方のこと。

ビジネスも産業も
コミュニティで
力をあわせて

保健・医療・福祉をはじめ、ビジネス、公務、地域コミュニティがそれぞれの強みや技術を生かし、新たな発想で地域や産業の未来を切り拓く。ケア専門職だけでなく、ケア産業に関わる人材との協働も新しいケアリング・コミュニティ（福祉社会）の創造の力になる。

それは
クリエイティブ
ワーク

広範なケアの領域のサービスや課題、新たなトピックなどを知り、それらの組み合わせやつながりを通して新しい価値をつくり出す。ケア専門職には豊かな人間性や実践力とともに、従来までの常識を越えた発想力や企画力、コーディネート力が求められる。

この「しぐみ」を 日本各地へ 世界へ

さまざまな人と連携し、ケアを取り巻く課題の解決に貢献できるケア専門職は、地域包括ケアを次のステージに押し上げる大きな力に。佐久大学で学んだ知識・技術は、日本全国、ひいては高齢化が進むアジアを中心とする世界各地で求められる力につながっている。

SAKU

保健・医療の先進エリア、
長野県佐久市

佐久大学

ヒューマンケア学部

ヒューマンケア学科

2021年4月
開設予定
(設置認可申請中)※掲載されている内容は予定であり、
変更になる場合があります。子どもから高齢者まで—佐久を舞台に
ヒューマンケアを総合的・実践的に学ぶ高度かつ複雑化するケアについて保健・医療・福祉の観点から学び、
専門性と対応力を身につけたケア専門職の育成をめざします。

活躍の場 主な進路

企業(一般・プレメディカル)
NPO
公共団体
病院
学校
保健福祉施設公務員
まちづくりコーディネーター
コミュニティ・ソーシャルワーカー
医療ソーシャルワーカー
スクールソーシャルワーカー
認知症ケア准専門士
多職種連携コーディネーター

資格取得

社会福祉士
国家試験受験資格

精神保健福祉士
国家試験受験資格

1

福祉的ケアを中心に
多様なケア・ニーズに
応える人材を育成ケアワーク(介護)をヒューマンケアの
基礎ととらえ、介護や生活援助に関わる
実践力を養成し、多様なケア・ニーズに
対応できる土台を養います。

2

東信州・佐久の地域特性を
踏まえて学び、多職種
連携できる力を養う「地域医療先進エリア」佐久で培われて
きた地域医療の成果を教育に。さまざま
なケア専門職と関わりながら学ぶ実習
などから協働力・創造力を磨きます。

3

課題解決に向けて
学び続けることのできる
主体性を育む福祉・医療の現場や地域の生きた課題
を題材とした実践教育を重視。学生の主
体性を引き出す演習や実習などを豊富
に盛り込んだカリキュラムです。

人間性を養う「基盤教育*」を経て、4つの教育群へ

人間力を高める科目と保健・医療・福祉の基礎分野を横断的に学んだうえで、進路から発想された4つの教育群から
主専攻と副専攻を選択。専門知識・技術を将来の目標や関心に応じて系統的に学びます。

*基盤教育…専門教育を積み上げていく土台を形成するための教育。

福祉臨床教育群	社会福祉の臨床において役立つ知識やスキルを学べる教育群です。なかでも対人援助の実践に必要なスキルを身につけることができます。障がいや疾病、貧困などにより、生活に支援を必要とする子どもやおとなを対象としたケアとその実践について学びます。
医療福祉教育群	保健・医療のケア・ニーズに対応できる力を養います。例えば認知症の人、慢性疾患患者、病気の子どものなど、専門的な医療とケアが必要となる人に対して医学的・心理的・行動科学的な見地から理解を深め、支援の方法やスキルを学習します。
生活環境教育群	住宅やコミュニティでのケアを想定し、健康生活とケアの基盤となる環境学、住宅学、生活デザイン学、福祉テクノロジー、コミュニティ学の考え方や技術を学習。誰もが暮らしやすい地域社会と快適な住環境づくりに貢献できる力を身につけます。
マネジメント教育群	ケア・サービスの理念や政策、制度とともに、経済や法律の知識を修得し、福祉専門機関や民間事業所の経営・管理・運営について理解を深めます。また、さまざまな事業者の連携を通して新しいサービスやしくみをつくり出す方法を考えます。

●ケア専門職を育てる、特徴ある学び

基盤教育・人間教育を重視
異文化交流する機会もケアは生きた人間同士が向かい合う営み。したがってケア専門職
には専門分野の知識や幅広い教養に加え、専門職としての倫理観
や責任感が求められます。自立した人として行動できる素養と
資質を養う人間教育を重視するほか、グローバル時代に必須と
なる、異なる言語や文化に寄り添える力を養います。実習先は、佐久エリアの
先進的な福祉・医療施設人に寄り添う「ケア」は実践の科学。現場や地域での実践を通して
経験知が得られる体験型の学習を重視します。佐久エリアの先進
的な福祉・医療施設を訪問して専門職の方々や協働しながら
学ぶ実習のほか、地域でのフィールドワークやインターンシップ
なども積極的に行う予定です。看護学部との
連携・統合教育看護学部とのさまざまな連携・統合教育を実施し、保健・医療に
強く、介護にも強いソーシャルワーカー(福祉専門職)を育てます。
また、「予防」「健康」を大切なキーワードとして、食・足・運動・
精神などの健康に関わる予防的なケアを実践できる教育を行います。佐久の地域性を学ぶことで
課題解決力も習得「地域に根差して」を目標とした佐久大学の教育。新学部でも佐久
エリアの地域医療・地域包括ケアの成果を専門教育に取り入れ
ることを考えています。医療・福祉に関わるさまざまなケア専門
職の方々とのネットワークを教育に生かし、地域のケアを取り巻く
多様な課題を解決できる実践力を養います。

佐久大学 信州短期大学部

子ども福祉専攻 保育士養成課程

2021年4月
開設予定
(設置届出予定)

※掲載されている内容は予定であり、変更になる場合があります。



「ケア専門職」としての
保育士をめざし
成長・発達のケアを
多角的に学ぶ

地域の子育てを支える保育者に
求められる知識とスキルの養成。
ヒューマンケア学部への
3年次編入の進路もあります。

<p>めざす進路</p> <p>障害児施設 病児・病後児施設 児童養護施設</p>	<p>保育所</p> <p>病院 一般企業</p>	<p>進学</p> <p>佐久大学ヒューマンケア学部 (2021年4月開設予定・設置認可申請中) 編入定員枠10名(予定)</p>	<p>資格取得</p> <p>保育士資格 社会福祉主事任用資格</p>
--	--------------------------------------	--	--

●特徴ある学び

子どもの成長・発達・福祉に関する科目のほか、 医療や保健も学ぶ

福祉・保育の理論を学ぶ専門科目はじめ、保育実践に必須の技術や指導力を育む実践型の授業を豊富に開講。また、医療・保健の領域にも踏み込んで学べるカリキュラムです。

乳児(0歳児)保育のニーズにも 応える専門知識を養う

0歳児から未就学児まで、それぞれの年齢や発達にあわせた保育活動や生活体験を通じた総合的な関わりのおかげで、成長の援助ができる幅広い知識と対応力を養います。

「子育て支援」ができる 保育士をめざす

一人ひとりの保育のニーズに対応した相談援助ができる力を養うため、「子育て支援」「こども家庭支援論」「こどもの健康と安全」など多彩な専門科目を開講します。

卒業後は、障がい児や 病児にも対応できる保育士に

病児・病後児、また子どもの障がいについて専門的に学べる科目を用意。特別な支援が必要な子どもへの対応を学び、障害児施設や児童養護施設など児童福祉関連施設への進路も広がります。

Data of
Saku City,
Nagano Prefecture

厚生労働省・佐久市発表資料ほか

データで見る 長野県 佐久市

地域包括ケアの先進エリア
自然に恵まれた暮らしやすい街

健康長寿のまち
平均寿命
男性 81.7歳
女性 88.4歳
平成27年



佐久医療センター

2014年に開業。救命救急センターをはじめとした5つのセンター機能を備え、高度先進医療を行う総合病院。

■医療・福祉に携わる人材が豊富

医療・福祉従事者 (国平均55.3人/千人)

73.3人/千人

看護師 (国平均905.5人) ※人口10万人あたり

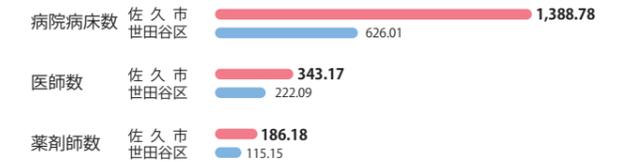
1,637.3人

医療・介護の体制が充実

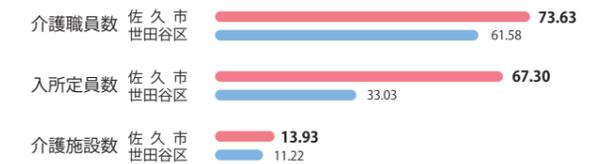
佐久市と東京都世田谷区の比較

出典：日本医師会 地域医療情報サイト (http://jmap.jp/) / 2015年国勢調査総人口で計算

●病院病床数・医師数・薬剤師数 (人口10万人あたり)



●介護職員数・入所定員数・介護施設数 (75歳以上人口1千人あたり)



佐久の「地域包括ケアシステム」とは

医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケア」の先進事例として取り上げられる佐久エリア。24時間対応の在宅医療・訪問看護、自立支援型の介護の推進など、快適で健康な暮らしをサポートする取り組みを積極的に実施しています。

ケアモデルを海外へ「つばさ事業」

佐久エリアの「健康長寿」を支えるケアモデルの海外展開を推進する事業が「保健・医療のつばさ事業」・「福祉・介護のつばさ事業」です。海外からの視察研修の積極的な受け入れや速やかな情報提供をはじめ、将来の地域における交流の活性化をめざしています。

プレメディカル産業を積極的に支援

佐久地域振興局と佐久産業支援センターが連携し、病気の予防や早期発見、健康増進に関する産業の開発支援プロジェクトを実施。工業デザイナーが講師を務め、医療・福祉機関やメーカーが参加してアイデアを生むワークショップなどを行っています。

佐久市は住みやすいと感じる

78.0%

日々の暮らしの中で幸せを感じる

73.9%



©2020 佐久市

浅間山、八ヶ岳、蓼科山など雄大な山並みに抱かれた美しい高原都市。晴天率が高く、夏は涼しく、冬は雪が少ない快適な生活環境です。



世界的な観光エリア・軽井沢にも隣接。佐久平駅は、東京駅から新幹線で1時間20分程度。高速道路も整備され、首都圏とのアクセスは抜群です。